

## 1 インタビュー

# 企業のデジタル改革をグループ全体で推進

エクシオグループ株式会社（以下、エクシオグループ）では、デジタル技術をグループ内やお客様の業務へ適用するデジタル改革を推進している。活動を推進する2人のリーダーにデジタル改革に向けた考えや今後の戦略について話を伺った。

### いち早くデジタル改革に取り組み、 コロナ禍にもビジネスの継続を 支える環境を提供

—まず貴社のデジタル改革について教えてください。

**菊池** エクシオグループでは、2019年から、社内DXを推進するDX戦略部を設立し、IT・デジタル技術を活用した働き方改革やシステム改革を進めてきました。

また、2021年度には社名を「株式会社協和エクシオ」から、「エクシオグループ株式会社」に変更し、よりグループ一体でのビジネスの推進を図るための改革を進めています。特に、社内業務のデジタル化の基盤となる、ネットワークやセキュリティ、コミュニケーション基盤の整備を早い段階から推進し、セキュアな環境での活発な業務コミュニケーションを実現してきました。2020年3月のコロナウイルスの蔓延時にも、Microsoft Office365やMicrosoft Teamsを活用した在宅リモートワークにより大きな影響なく業務を継続することができました。

### デジタル改革は、 自らの手で進める

—グループ内のDXの推進の特徴を

教えてください。

**菊池** エクシオグループのDXアプローチの特徴は「グループ内製化」にあります。私たちは、グループ内の各社、各部門が自らの手で改革することを推進しています。基幹システムについても、

グループ内のSI会社が事業部門と一緒に課題抽出・課題解決に取り組み、最適な方法の選定やサービスの導入、カスタマイズを実施しています。

2021年度には、DX認定を取得しました。このことは、社内DXの取り組みの加速につながっています（図1）。



図1 DX認定マーク

### グループ内のDX推進と、 お客様へのデジタル改革の提供を 両輪で推進

—お客様企業にもSI事業を展開していますが、どのような体制をとられて



エクシオグループ株式会社  
CIO 執行役員  
DX戦略部 部長  
菊池 正浩氏



エクシオグループ株式会社  
常務執行役員  
ソリューション事業本部 事業本部長  
代表取締役社長  
佐藤 裕二氏

いますか。

**佐藤** 弊社グループ内に、海外も含め26社、約5000人のSI技術者を抱え、お客様のデジタル改革に取り組んでいます。

エクシオグループでは、デジタル改革の大きな後押しになる新しいソリューションや技術を、まずグループ内に戦略的に導入し、そのノウハウをお客様にもお届けするかたちを基本としています。これにより、自社の取り組みで蓄積された実効性の高いデジタル改革のソリューションや構築ノウハウを自信を持ってお客様にお届けできると考えています。

エクシオグループでは、特徴のあるソリューションを持つグループ会社がそれぞれの強みを磨きながら、

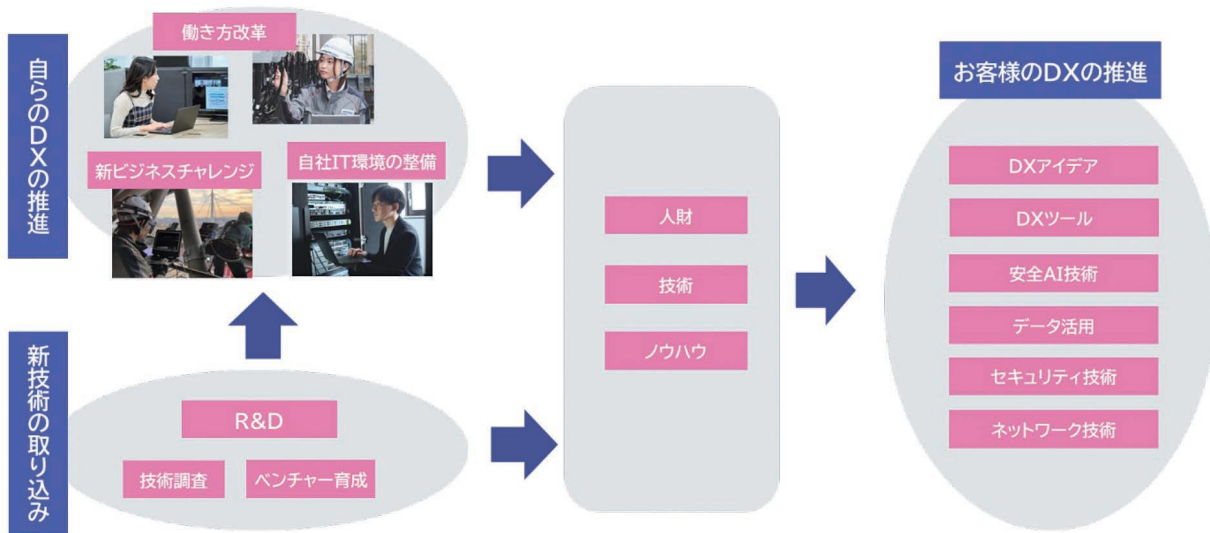


図2 お客様のデジタル改革の推進に向けて

弱点を補完しあって、全国規模や、グローバルでの連携開発体制を確立しています。こうした体制が取れることも、リモート環境でのバーチャルな開発体制を可能とした環境整備のメリットの1つだと考えます。

### グループの連携をさらに進め、グループ総体で様々なお客様のデジタル改革を支援

—今後のSI事業の展開についてお聞かせください。

**佐藤** 今後さらに必要性が増してくる企業のDXの取り組みに対して、エクシオグループ各社の持つ強みや経験をもとにお客様にメリットのある提案をし、お客様に伴走してDXを提供できるSIerを目指しています(図2)。

エクシオグループの創立以来の強みである、通信ネットワークや企業ネットワークの構築・制御・運用を支えるノウハウに加えて、近年の取り組みで蓄積した最新のセキュリティ技術や業務アプリケーション構築技術をフル活用し、コンサルティ

ングからシステム実現、運用保守に至るすべてのシーンで、お客様のDX化を支援できる体制が整ってきました。

2022年4月にグループ内のSI事業の連携を強化するため、首都圏のSIと保守運用事業をそれぞれ、エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社とエクシオ・システムマネジメント株式会社という2つの中核会社に統合するとともに、地域グループ会社との連携強化を図っています。

ソリューションや技術も、従来からのスクラッチ開発系技術に加えて、ServiceNowやSalesforce、intra-mart、Microsoft Power Platform、OutSystemsなど様々なアプリケーション基盤を用いた開発体制を整備したほか、AWS、Azureなどのクラウドベースのシステム構築、SnowflakeやTableau、DOMOなどのデータ活用系開発にも注力しています。

今後もSI技術が変化していくことを前提に、常に新しい技術に素早く対応できるように体制や組織も見

直していきます。

### 高度に効率化されていく社会で、お客様自身の変革に寄与

—最後に、貴社の考えるデジタル改革の将来像と貴社の今後の取り組みについて教えてください。

**菊池** 今後、急速に発展したデジタル技術の適用によって、企業の業務の多くが自動化・仮想化され、場所や時間にとらわれない形へ変化していくと考えられます。特に生成系AIなどの技術は、より身近な存在としてビジネスを変える可能性があります。

新しい技術にはリスクも伴いますが、恐れずに取り組みたいですね。

**佐藤** 急激な社会変化を受け身にとらえるのではなく、積極的に対面し、変化に応じたビジネス変革を実現する手段としての技術やソリューションの準備、それを提案できる人財の育成が今後の注力点だと思っています。エクシオグループ各社が密に連携して取り組んでいきたいと思っています。

—ありがとうございました。